

富士フィルムと環境負荷

以下のフロー図は、2002年度の資源の投入量と、製品の研究開発・製造・物流において発生する排出物量・廃棄物量を概観したものです。富士フィルムでは、「グリーン・ポリシー」をはじめとする環境マネジメントシステムの強化、CO₂削減のための各工場における重油から天然ガスへの燃料転換等、環境負荷を下げるための施策を推進しています。

PET (Polyethylene terephthalate : ポリエチレンテレフタレート)
 ペットボトルの原料として有名ですが、スレイフィルムの支持体などにも用いられています。

TAC (triacetylcellulose : トリアセチルセルロース)
 一般写真用フィルム、映画用フィルムなどの支持体に使われています。

PM (Particulate Matter : 粒子状物質)

直径10マイクロメートル以下の粒子で、空気中を浮遊するものは浮遊粒子状物質 (SPM) と表現されることが多いです。火山の噴煙などで自然界に存在する微粒子のほか、工場の排煙やディーゼルの排ガスなどが主な発生源です。ディーゼル排気微粒子は発がん性も指摘されています。

エネルギー使用量

購入電力 (百万kWh)	281
A重油 (千kL)	176
C重油 (千kL)	79
都市ガス (千m ³)	5435
液化石油ガス (トン)	162
灯油 (千kL)	2
太陽光発電 (千kWh)	19

水の投入量 (百万トン)

銀 (千トン)	0.87
ゼラチン (千トン)	3.6
PET (千トン)	51.2
TAC (千トン)	15.3
アルミ (千トン)	48.3

容器包装材料

プラスチックフィルム・シート (千トン)	0.66
プラスチック成形品 (千トン)	4.86
金属材料 (千トン)	2.40
紙器+紙材 (千トン)	5.12
段ボール (千トン)	9.38

